



3歳児ってこんな時期

イヤイヤ期のピークは過ぎますが、4歳近くになって反抗期の行動が見られるようになったと、感じている方もいるのではないのでしょうか。イヤイヤ期との違い、例えば「赤がいい!」「これは着たくない!」など反抗期の行動には意思表示が出てくるのが特徴です。そうした時期が続くとどう対処していいか? 考えてしまう方も多いと思います。一見すると単なるわがままのように聞こえるかもしれませんが、それには理由があります。語彙が高まってきても、自分の気持ちを伝えられず、反抗的な態度で表現します。そんなとき...「〇〇したかったんだよね」「〇〇がいやだったんだね」と気持ちを代弁してあげることで、子どもは「理解してくれているんだ!」と安心します。運動の面では、筋力、体力がついてきて、跳ぶ、走る、片足で立つなどの動きがバランスよくできるようになっていきます。気持ちや言葉、運動面でも目に見えて成長している姿が分かる大切な時期です。十分に寄り添い、受け止めてあげて大切にしていきたいですね。

子育ての悩み、保育について気になる事がありましたら、遠慮なく声をかけてください。ご家庭と共に子供たちの成長を見守っていきたいと思います。

優しく暖かな陽の光の中で、元気に戸外遊びを楽しんでいる子ども達。心弾ませながら新しい色の帽子を被り、「お兄さんお姉さんになった!」という喜びが表情や姿から見受けられます。お家から持ってきた水筒を飲み、水分補給をしっかりと、気持ちの良い風を浴びながらたくさん遊んでいきたいです。

やってみよう!

ひまわりぐみになって1か月が経ちました。今までの生活とは違って初めての経験がたくさん。平均台や鉄棒などの身体遊びに挑戦し、初めてのことで緊張していた子ども達でしたが、始めてみると「楽しいね!」「面白いね!」などと色々な声が聞こえてきました。また、来月から行うお当番活動の模倣なども始めました。お手伝いをする子ども達の姿がとてもうれしそうだとくましく見えます。来月からはお当番表なども作って、本格的にスタート! 何よりも子ども達が楽しみながら取り組むことを大切にしていきたいと思います。

